



氏名 坂本 月音
所属 現代システム科学域 環境社会システム学類
学年 4年

留学先 オルデンブルク大学
留学期間 2025/3/10~2025/8/30

留学レポート Study Abroad Report

留学先での言語と学習

日常会話の9割が英語で、ドイツ語はほぼ使用しなかったです。私の場合、日本人コミュニティや日本語学習者である友人が多く、日本語もたくさん使ってしまった。ドイツの学生はほぼ英語ができますが、オルデンブルクの大学外だと通じません。スーパーマーケットやレストラン、カフェはドイツ語が必要です。ベルリンやミュンヘンなどの都市部に行くと、店員さんも皆英語で話します。授業は、ドイツ語と英語の授業を受講しました。どちらもリスニングとスピーキングを重視しており、日本での英語の授業よりも実践力が養えるものだと感じました。ドイツ語はA1 初歩とA1 応用を受講していました。応用はかなりレベルが上がり、覚える語彙やルールが増えました。先生との距離が近いです。特にオルデンブルク大学は先生になりたい人が多いため、学生が研修として授業を行ったりもします。私のドイツ語の先生も若く、おそらく学生の方で、Instagramを交換するほどフレンドリーな先生でした。英語の先生は、たまたま日本に留学されていた方で、連絡先を交換して、お茶をしたりもしました。そのため、質問もしやすいです。そして思っている以上に、日本に興味のある人が多かったです。Tandemという相互に言語を教え合う制度もあり、日本語×ドイツ語グループでよく勉強していました。

生活について

住居は、大学内にオフィスを持つStudentenwerkが寮を提供してくれます。種類がたくさんありますが、当たりはずれがあり、おそらく選ばません。私の寮は、あまり良いものではなかったです。たいいの寮が少なくても2人、多くても11人でキッチン・シャワー・トイレを共有します。寝室は一人で使うことができ、鍵もついています。鍵を紛失すると、高額な出費がかかります。また、綺麗な寮ほど、退去時にDepositを取られやすいです。厳しい寮は埃一つでDeposit一部を取られてしまうそうです。

食事は、ほぼ自炊でした。外食はめったにしなかったため、閉鎖口座から送られてくる980ユーロから毎月200ユーロほど余っていました(Jasso奨学金別)。大学の学食も日本に比べると高いですが、外食に比べると安いです。外食する際に、7~8ユーロほどで食べられるDönerというトルコのケバブがめちゃくちゃ美味しいので、おすすめです。

Too good to goというヨーロッパのアプリで、スーパーマーケットやレストランで余った食事を安く購入することができます。大学内にも、カフェや学食で余ったパンや野菜を無料で取れるボックスがあります。

セメスターチケットという渡航前にすでに支払っているチケットをもらえるので、交通費がほぼかかりません。バスと普通列車はチケットで無料で乗れます。BremenやHamburgという大きい街にも無料で

出られることが有難かったです。ただ、電車がかなりの頻度で遅延したり、キャンセルされたり、急にホームが変わってたりします。Deutsche Bahn のアプリを入れておくと、情報が見れるので安心ですが、常に遅延やキャンセルの可能性を視野に入れて行動しておくことが大切です。

皆めちゃくちゃ自転車で乗ります。私も自転車をドイツ版メルカリで購入し、利用しましたが、自転車ルールが日本よりも厳しいです。走行は右の道路のみと決まっており、せっかく近くきって走れるところを遠回りすることもあります。曲がる際には、後ろの車や自転車に分かるように指で方向を指し示しながら曲がります。

オルデンブルク大学の良さ

学生に優しい制度が多いです。上記の Tandem や無料のパンなどに加えて、スポーツのコースを無料で受講できたり、自転車の修理場が大学内にあり、無料で修理できたり（ただし自分で。やり方は教えてくれる。）、大学内に小さな映画館があり、無料で鑑賞できたりします。ジブリなど日本映画もよく上映されていました。大学内にジム・プール・サウナもあります。スポーツコースの種類が本当に豊富で、選べないほどでした。私はバスケットボールとクライミングのコースに参加していました。忍術やカンフーなんかもあって、面白そうでした。そして、何より助かった制度がバディ制度でした。自分で大学フォームから事前に申請する必要があります。バディの当たりはずれもあり、ほったらかしにされたという人もいました。私のバディは本当に親切で優しい子でした。空港まで迎えに来てくれ、車で寮まで送ってもらう道中、必需品の購入に付き合ってくれました。バディに空港まで迎えに来てもらうよう頼んでおくと安心です。

オルデンブルクの良さ

スーパーマーケットの接客が最初は怒っているのかと思うくらい、良い意味で適当でフランクでした。人が近いと感じました。役所で隣に座った女性の方がドイツ語で話しかけてきたり、バスで隣になった方がお菓子をくれたり、スーパーで袋から出ている芋を「こっそり持ってけ」と渡してくれたり、温かい人が多い町でした。何より自然がとても綺麗でした。夜には見たことないぐらい星が大量にはっきりと見えます。ポタニカルガーデンや大きな公園がたくさんあるので、花や木も魅力的です。湖がたくさんあり、海も遠くないです。びっくりしたことは、サウナやスパが男女混合で、体をタオルで隠したりもしないことです。近くの FKK という湖も同様でした。大学サウナは、女性限定の日もあるので、混浴に抵抗がある人も利用できます。



また、Pinte というビールが 1 ユーロで売られる学生 Bar が大学の近くにあり、イベント等もそこで実施されるため、友人を作りやすい環境があると思います。他のドイツの大学を知りませんが、手厚い留学生支援や美しい自然の環境、街への出やすさ、温かい人たちが、いくつかの街を旅れた中で感じたオルデンブルクならではの魅力だと思います。

デメリット

日本に比べると、勿論物価は高いです。外食が一番安くて 1000 円ほどで、マクドナルドのナゲット 5 ピースが 900 円近くだった時は衝撃でした。ただ、イギリスやアメリカに比べると、比較的安いし、交通費がかからないことが大きな利点です。

メールの返信が遅いです。何をしても、予約が必要で、その予約するメールをチェックされるのにも、また時間がかかります。ビザ申請から受け取りの間に、90 日過ぎてしまった際には、かなり焦りました。

スーパーの商品の品質が良くないです。味や中身に問題があるわけではなく、店員さんが乱雑に扱すぎて卵が割れていたり、砂糖や塩の袋が破けていたりします。しっかり中身をチェックしてから購入する

と良いです。

トイレが有料です。日本だと駅などのトイレに自由に入れますが、ドイツでは1~3ユーロほど支払う必要があります。

食事があまり個人的に口に合いませんでした。特に、学食はあまり好みのものがありませんでした。日本食店の日本食がめっちゃくちゃ高いけど、スシローの方が普通に美味しいです。アジアンショップで日本の調味料や食材を購入できますが、高いです。豚ロースなどの薄切り肉が存在しないので恋しくなります。すべてドイツ全体のデメリットで、オルデンブルクのデメリットは特に思いつきませんでした。

ハプニング

私の個人的ハプニングは、渡航前日にインフルエンザにかかったことです。熱も40度超、咳も止まらない状態だったので、さすがに渡航は断念しました。フライトチケットの日付変更・キャンセルの返金も不可能で、往復で購入していたのですが、片道を消化しないと、往路も自動キャンセルされるシステムだったので、ぎりぎりまで無理やり渡航することを迷いました。結局250,000円ほどパーになり、さらに追加でチケットを購入しなければなりません。初の海外で不安だったことから、HISというエージェントを通して予約しました。ドイツの空港でのサポートもしていただけたのでこのことを選びました。ただ、予約していた航空会社 Turkish Airline に問い合わせると、医療証明を出せば、変更可能だが、エージェントの判断によるとの返事をいただいたので、エージェントさえ介していなければ、二重に支払う必要もなかったみたいです。悔しい思いをしました。ただ、別で予約し、渡航した日に良い出会いがありました。その出会った方々にバンドに誘われ、ドイツ留学のハイライトと言えるバンド活動をすることができました。

今後の展望

元々、英語力を伸ばしたいという思いで行ったドイツでしたが、ドイツ語学習の意欲が高まりました。ドイツ留学中、何度もドイツに住む方法を考えたほど、ドイツも、ドイツ語も好きになりました。もっと流暢にドイツ語を話せるようになって、将来もう一度長期で住んでみたいです。特に、ドイツの大学院は学期費用はかかりますが、学費は無料なので、その選択も視野に入れていきます。また、ドイツの会社は休みを取りやすく、夏に一月休みを取り、長期旅行をするような話をよく聞きました。ただ、ドイツで働くためには最低C1レベルのドイツ語が必要です。そのために、今後もドイツ語学習を続けていく予定です。残り半年の大学生活でも、国際交流ができるような活動に参加していきたいです。